

## 令和 3 年度第 2 回公共交通活性化協議会での指摘事項 とその対応（案）

### (1) ミニバス北路線の運行計画等の変更について

意見 番号	指摘事項	対応案
1	<p>調布市におけるコミュニティ交通をどういう立ち位置とするのかについて、整理が必要なのではないか。コミュニティバスの目的は不便地域の解消だったはずだが、経済性を理由として北部路線が 9 割減便となり、生活様式、利用様式が大きく変わっている。</p> <p>調布市では北路線含めコミュニティ交通に対して補助金がほとんど入っておらず、近隣他市の補助金の実態等と比較すると差が非常に大きいと感じる。</p> <p>限られた財政資源をどこにどれだけ投入するかについて、市の考え方はいろいろあると思うが、少なくとも調布市においてはコミュニティ交通のあり方をどういう位置づけにするのかということから整理が必要ではないか。</p> <p style="text-align: right;">（佐々木委員）</p>	<p>コミュニティ交通については、本計画に基づき検討を予定している「地域公共交通計画」策定の中で整理して参ります。</p>
2	<p>運行頻度が少なく、また、滞在時間もあまり確保できないダイヤ設定となっているように見受けられるが、施設への移動手段としてバスを軸として考えているのか、自家用車を軸として考えているのかがはっきりしないという印象を受ける。</p> <p style="text-align: right;">（矢辺委員）</p>	<p>当該施設に対しては立地条件から車による来訪を見込んでいますが、施設の整備内容から各種バスのほか、シェアサイクルを含め自転車でのアクセスも可能です。</p>

意見 番号	指摘事項	対応案
3	<p>施設とバス路線の役割について、施設の利用者数や来訪範囲、来訪時に使用する交通手段などの検討の流れを踏まえて、どのように使うものであるか説明があるとよい。</p> <p>(秋山会長)</p>	<p>当該施設に対しては立地条件から車による来訪を見込んでいますが、施設の整備内容から各種バスのほか、シェアサイクルを含め自転車でのアクセスも可能です。</p>

(2) 北部地域における巡回公共交通の実証実験について

意見 番号	指摘事項	対応案
4	<p>利用対象者を65歳以上に限定するのであれば、乗車できる人、できない人を何かしらの手段で確認する必要がある。判別方法はこういったことを想定されているのか。</p> <p>(早田委員)</p>	<p>年齢を制限しているものの、乗車時に年齢を確認している者ではありません。</p>
5	<p>利用対象者を65歳以上に限定するのであれば、運用時に混乱を招かないよう、確認手段や、対象外の人が乗車しようとしたときの対応など、ルールをしっかりと定めておく必要がある。</p> <p>(秋山会長)</p>	<p>年齢を制限しているものの、乗車時に年齢を確認している者ではありません。</p> <p>なお、障害がある方の同伴者は1名まで認めることとしました。</p>
6	<p>今までの調査はまだ存在しない交通手段に対する意向調査であったが、実証実験にあたっては、利用意向の有無と、実際の利用についてパネル調査によって把握が必要である。</p> <p>また、調査にあたっては、結果をどう活用するかを見越して調査をする必要がある。例えば今回は車いすの人が利用できないが、乗れない方には実際どれぐらい需要があるのか。その量によっては、代替の交通手段を確保する必要がある。バリアフリーに対応できない車両を使用する点をどのようにカバーするかも重要である。</p> <p>乗り込み調査をやるにしても、満足度を聞いても仕方ないので、OD、つまり出発点と到着点がどこかを把握する必要がある。調査後どう使うかを見越して調査をして頂きたい。</p> <p>(秋山会長)</p>	<p>御意見ありがとうございます。調査等を実施する際の参考とさせていただきます。</p>

意見 番号	指摘事項	対応案
7	<p>交通を育てていくという観点からすると、利用者のリテラシーを上げていくことも大事になってくる。</p> <p>一般の市民の方にも、運行経費が1台当たりどれぐらいかかるのか、それは税金でこういう形で賄おうとした場合にはこのような問題点がある、このぐらいの投資が必要になるといったことを、アンケートのフィードバックの際などに情報提供できるとよいのではないか。</p> <p style="text-align: right;">（長野副会長）</p>	<p>御意見ありがとうございます。調査等を実施した際の参考とさせていただきます。</p>

(3) 調布市総合交通計画の改定について

意見 番号	指摘事項	対応案
8	<p>施策について、調布市に役に立つものを残して、役に立たないであろうものは削っていくことが必要ではないか。</p> <p>例えば22ページのフリッジパーキングについては、自動車をどこかに止めて調布駅から鉄道に乗るというのは、なかなか考えられず、調布市で政策的にやる必要性が少ないのではないかと感じる。</p> <p>日本各地の情報は適切に入っているが、調布市に必要な部分をどうやって書き込むかというところについて、もう少し検討が必要に感じる。</p> <p>(秋山会長)</p>	<p>御意見を踏まえて、各施策の具体的な実施場所や時期などを勘案し、精査を行います。</p>
9	<p>(4) 高齢者・障害者の外出支援の充実に関して、多様な高齢者に対してどうサービスするかということが抜け落ちている。福祉タクシー券のように、障害者、高齢者など移動困難を伴うような人たちの対策だけでなく、一般モードを使う高齢者へのサービスをどうするかという視点も必要である。</p> <p>例としては、元気な高齢者にも乗っていただく乗り物として市が整備しようとしているコミュニティバスなどが該当するのではないか。</p> <p>(秋山会長)</p>	<p>コミュニティバスやその他コミュニティ交通を含む、交通ネットワークの検討は都市計画マスタープランの検討内容も踏まえて整理・記載を行う予定です。</p> <p>その際、高齢者の移動手段の確保についても意識して整理を行います。</p>

10	<p>調布市ならではの視点について，上位計画である総合交通計画から地域公共交通計画へのつながりを想定して，両計画が連動するように整理できるとよい。</p> <p>(長野副会長)</p>	<p>御意見ありがとうございます。今後の検討における参考とさせていただきます。</p>
----	--	---